

## ヒト由来マトリックスメタロプロテイナーゼ-13 (His•Tag)、再組換え

Cat. No. NATE-0859

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** マトリックスメタロプロテイナーゼ (MMP) は、活性部位に亜鉛イオンを持ち、コラーゲン、エラスチン、その他の細胞外マトリックス (ECM) の成分を分解できる独自のプロテオリティック酵素のファミリーのメンバーです。これらの酵素は、正常な健康な個体に存在し、創傷治癒、妊娠、骨吸収などのプロセスにおいて重要な役割を果たすことが示されています。しかし、MMPの過剰発現と活性化は、ECMの分解とリモデリングに関与するさまざまな病理学的プロセスや疾患状態と関連しています。そのような疾患には、腫瘍の浸潤と転移、リウマチ性関節炎、歯周病、血管プロセス (血管新生、内膜過形成、動脈硬化、動脈瘤など) が含まれます。最近、MMPはアルツハイマー病や筋萎縮性側索硬化症 (ALS) などの神経疾患とも関連付けられています。MMPの自然な阻害因子であるマトリックスメタロプロテイナーゼの組織阻害因子 (TIMP) が存在し、これらの疾患に対する新しい治療オプションの希望を提供する合成阻害因子が開発されています。

**別名** コラーゲナーゼ-3; マトリックスメタロペプチダーゼ13; MMP13; CLG3; MANDP1; MMP-13

### 製品情報

種	人間
由来	<i>S. frugiperda</i>
形態	液体
分子量	60 kDa
純度	>90%はSDS-PAGEによる
活性	>50 mU/mg タンパク質
緩衝液	150 mM NaCl、50 mM Tris-HCl、5 mM CaCl <sub>2</sub> 、pH 7.5。
単位定義	1ユニットは、37°C、pH 7.5で1.0 μmolのMCA-Pro-Leu-Gly-Leu-Dpa-Ala-Arg-NH <sub>2</sub> を1分間に加水分解するAPMA活性化酵素の量として定義されます。

### 保管・発送情報

**保存方法** < -70°C; 凍結/解凍を避ける